

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 346

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
広報教育室(TEL092-641-1101)
内線 2505

目 次

1. 科学研究費及び受託研究費による計算機利用について	1
2. 昭和61年度利用申請の受付について	2
3. 昭和62年度利用申請の受付について	2
4. マスストレージ(MSS)の継続手続きについて	3
5. 昭和62年度(前期)ライブラリプログラム開発計画募集に ついて	3
6. 英日自動翻訳システムATLAS-Iのレベルアップについて	3
7. 昭和62年度プログラム相談員の募集について	5
8. 講習会資料について	5
9. センター刊行物について	6

1. 科学研究費及び受託研究費による計算機利用について

1. 利用期限及びデータセットの取り扱いについて

科学研究費による利用期限は、昭和62年2月20日(金)、及び受託研究費による利用期限は、昭和62年2月26日(木)です。例年2月中はジョブ件数が多く混雑するため、特にD、Eジョブについては、早目に計算を依頼してください。また、利用期限切れとなる登録番号のデータセットは、3月9日に消去処理を行いますので、必要なデータセットの保存処置をとってください。

2. ジョブの強制出力について

科学研究費、及び受託研究費のジョブについては、負担金請求作業のため有効期限の当日までに入力されたジョブはすべて強制出力をします。なお、強制出力できなかったジョブについてはキャンセルいたしますのでご了承ください。

3. ジョブのキャンセルについて

キャンセル処置については、科学研究費の場合には2月21日(土)、及び受託研究費の場合には2月28日(土)までに計算結果を添えてプログラム相談室、または2階受付に調査依頼を行ってください。また、連絡所からの利用者で、期日までに間に合わないと思われる方は、あらかじめ業務掛までご連絡ください。

(業務掛 電(内)2517)

2. 昭和61年度利用申請の受付について

本年度の利用申請（新規・追加）の受付期限は、2月28日（土）です。ただし、科学研究費による利用申請の受付期限は、2月7日（土）です。

（共同利用掛 電（内）2505）

3. 昭和62年度利用申請の受付について

○継続申請について

1. 九州大学を所属センターとしている場合

61年度当センターを所属センターとしている利用者には、「計算機利用申請書（継続用）」を1月末頃送付しますので、引き続き利用される方は、その申請書で2月2日（月）～3月14日（土）までに申請を行って下さい。

2. 九州大学を所属センターとし、他センターを第二センターとしている場合

上記申請を行い、その申請承認書を受理した後、別表の当該センターの受付期間中に、S I N S E Iコマンドで当該センターへ継続手続きを行って下さい。

3. 九州大学を第二センターとしている場合

61年度当センターを第二センターとしている利用者には、確認のため「計算機利用申請書（写）」を、1月末頃送付しますので、引き続き利用される方は、所属センターへ所定の申請を行った後、所属センターの用意したコマンドで3月20日（金）までに九大センターへ継続手続きを行って下さい。

○新規・追加申請について

62年度新規・追加利用申請の受付開始は別表のとおりです。

（別表）

センター名	昭62年度申請種別	所属センターとしての受付期間	第二センターとしての受付期間
北 大	継 続 新 規	昭 62. 3. 2～昭 62. 4. 30 昭 62. 3. 2～	昭 62. 3. 2～昭 62. 3. 20 昭 62. 4. 1～
東 北 大	継 続 新 規	昭 62. 2. 2～昭 62. 3. 10 昭 62. 2. 2～	昭 62. 2. 2～昭 62. 3. 20 昭 62. 4. サービス開始後
東 大	継 続 新 規	昭 62. 2. 2～昭 62. 2. 28 昭 62. 3. 16～	昭 62. 2. 2～昭 62. 3. 20 昭 62. 4. 6
名 大	継 続 新 規	昭 62. 2. 20～昭 61 年度 昭 62. 2. 20～最終運用日	昭 62. 2. 20～昭 62. 3. 20 昭 62. 4. 1～
京 大	継 続 新 規	昭 62. 2. 2～昭 62. 3. 10 昭 62. 3. 10～	昭 62. 2. 2～昭 62. 3. 20 昭 62. 4. 1～
阪 大	継 続 新 規	昭 62. 3. 2～昭 62. 3. 25 昭 62. 3. 2～	昭 62. 3. 2～昭 62. 3. 20 昭 62. 4. 1～
九 大	継 続 新 規	昭 62. 2. 2～昭 62. 3. 14 昭 62. 2. 2～	昭 62. 2. 2～昭 62. 3. 20 昭 62. 4. サービス開始後

（共同利用掛 電（内）2505）

4. マスストレージ(MSS)の継続手続きについて

昭和62年度も引き続きマスストレージ(MSS)を利用される方は、3月14日(土)までに共同利用掛へ連絡ください。なお、取り消しを希望される方は、マスストレージ取消申請書を必ず提出してください。連絡のない場合は、年度初め1週間後に消去します。

備考 1. 計算機利用継続申請がなされていない場合は認められません。

2. 科学研究費の登録番号で利用されているマスストレージの継続はできません。

(共同利用掛 電(内)2505)

5. 昭和62年度(前期)ライブラリプログラム開発計画募集について

ライブラリプログラム開発計画募集要領(センターニュースNo.336参照)に基き標記開発計画を下記のとおり募集します。なお、ベクトルプロセッサ(VP)用のライブラリプログラムの開発も大いに歓迎しますので、どしどし応募してください。

記

1. 応募資格 本センター利用有資格者
2. 応募締切 昭和62年2月28日(土)
3. 応募手続 所定の申請書を共同利用掛(内線2505)またはライブラリ室(内線2523)まで提出する。申請書および募集要領は共同利用掛またはライブラリ室へ申し込むこと。
4. 対象課題
 - a) 広く各分野で使われる可能性のあるプログラムの開発。
 - b) ある専門分野に限られるが、その分野では広く使われる可能性のあるプログラムの開発。

なお、開発者はなるべく早い時期にライブラリプログラムとして登録および公開するよう努力するものとしますが、これら開発者の義務、開発に係る経費等の事項の詳細については、募集要領を参照してください。

(ライブラリ室 電(内)2523)

6. 英日自動翻訳システムATLAS-Iのレベルアップについて

2月9日(月)より標記システムをレベルアップ(V01/L20)します。これに伴い、以下のような機能が追加・強化されます。詳細については、マニュアル[1]を参照してください。

- a. 一度翻訳した原文の再翻訳ができる。
- b. 最大5つまでの辞書の連結使用ができる。
- c. 翻訳エディタのAUTO SAVE機能が追加された。
- d. 対訳リストが印刷できる。
- e. 訳文ファイルをODM(文書処理システム)に登録することができる。
- f. 翻訳機能が改善された。
- g. 辞書内容が整備された。

また、科学技術用語辞書が公開されました。これらの辞書を使用することにより、各分野に応じた適切な訳文を得ることができます。データセット名は、下記のとおりです。対話処理の場合は初期メニューで属性定義を選択し、辞書定義画面でHELPキーにより参照できます。

分野	データセット名	分野	データセット名	分野	データセット名
遺 伝	PP1.ATLAS1.GK001	採鉱冶金	PP1.ATLAS1.GK009	電 気	PP1.ATLAS1.GK017
化 学	PP1.ATLAS1.GK002	歯 学	PP1.ATLAS1.GK010	土 木	PP1.ATLAS1.GK018
機 械	PP1.ATLAS1.GK003	植 物	PP1.ATLAS1.GK011	統計数学	PP1.ATLAS1.GK019
気 象	PP1.ATLAS1.GK004	図 書 館	PP1.ATLAS1.GK012	動 物	PP1.ATLAS1.GK020
計 測	PP1.ATLAS1.GK005	数 学	PP1.ATLAS1.GK013	物 理	PP1.ATLAS1.GK021
建 築	PP1.ATLAS1.GK006	船 舶	PP1.ATLAS1.GK014	分 光	PP1.ATLAS1.GK022
原子力	PP1.ATLAS1.GK007	地 震	PP1.ATLAS1.GK015	論 理	PP1.ATLAS1.GK023
航 空	PP1.ATLAS1.GK008	天 文	PP1.ATLAS1.GK016	情報処理	PP1.ATLAS1.IN210

[バッチによる使用例]

①英文テキストAA. TEXTを翻訳しNLPに出力する。

```
// EXEC ATLAS1
//ENGLISH DD DSN=A79999A.AA.TEXT,DISP=SHR
//SPRINT DD SYSOUT=S
//JPRINT DD SYSOUT=S
//SYSIN DD *
  DEFINE FORMAT(MARGINS(1 80) CUTLINE(10)
                SUSPEND(10));
  TRANSLATE FROM(ENGLISH) TO(JPRINT)
  SOURCELIST(SPRINT);
/*
//
```

②英文テキストAA. TEXTを翻訳して訳文ファイルJJ. TEXTを作成し、NLPに出力する。

```
// EXEC ATLAS1
//ENGLISH DD DSN=A79999A.AA.TEXT,DISP=SHR
//JAPANESE DD DSN=A79999A.JJ.TEXT,DISP=(NEW,CATLG),
// UNIT=PUB,SPACE=(TRK,(10,10),RLSE),
// DCB=(RECFM=F,LRECL=256,BLKSIZE=256)
//JPRINT DD SYSOUT=S
//SPRINT DD SYSOUT=S
//SYSIN DD *
  DEFINE FORMAT(MARGINS(1 80) CUTLINE(10)
                SUSPEND(10));
  TRANSLATE FROM(ENGLISH) TO(JAPANESE T(DOC))
  PRINT(JPRINT) SOURCELIST(SPRINT);
/*
//
```

- ③英文テキストAA. TEXTを翻訳して対訳ファイルTT. TEXTを作成し、対訳形式でNLPに出力する(専門辞書使用)。

```
// EXEC ATLAS1
//ENGLISH DD DSN=A79999A.AA.TEXT,DISP=SHR
//ESAVE DD DSN=A79999A.TT.TEXT,DISP=(NEW,CATLG),
// UNIT=PUB,SPACE=(TRK,(100,50),RLSE),
// DCB=(RECFM=VB,LRECL=4096,BLKSIZE=6144)
//ATLDIC DD DSN=PP1.ATLAS1.GK999,DISP=SHR
//PPRINT DD SYSOUT=S
//SYSIN DD *
DEFINE DICTIONARIES(ATLDIC);
TRANSLATE FROM(ENGLISH) SAVE(ESAVE)
PAIRLIST(PPRINT);

/*
//
```

参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM OS IV ATLAS-I 解説書(70AR-3000-3), 富士通(株).
(ライブラリ室 電(内)2523)

7. 昭和62年度プログラム相談員の募集について

当センターでは、現在、月曜日の午後、火曜日から金曜日の午前と午後プログラム相談を行っております。質問者への助言、技術指導等のため、下記によりプログラム相談員を募集しますので、お申し込みください。なお、詳細は共同利用掛にお尋ねください。

記

1. 応募資格 センター利用有資格者
2. 担当時間 週1回(2時間)
但し、夏期休暇中(7.11~9.10)は、期間内に2回程度担当すればよい。
3. 任期 昭和62年4月 ~ 昭和63年3月
4. 特典 指導用計算時間(年間120分)
5. 申込期限 2月28日(土)
6. 申込み先 九州大学大型計算機センター
共同利用掛(電 641-1101 (内)2505)

8. 講習会資料について

本年度に行った下記講習会の資料が若干余っていますので、希望者は共同利用掛(内線2505)にお申し出ください。先着順といたします。

- TSS 支援ツール講習会
- ICAD 講習会資料
- 文献情報検索講習会
- Fortran 77 講習会
- トーマス・マン・フェアル講習会
- VP 講習会
- APL 講習会
- ODM 講習会
- ANALYST 講習会

9. センター刊行物について

下記の刊行物に多少在庫がありますので、希望者は共同利用掛（内線 2515）にお申し出ください。なお、希望者多数の場合は先着順といたします。

- 計算機科学研究報告 第1号, 第2号, 第3号
- 研究開発論文集 No.7
- オンライン・データベース利用ガイド 第6版
- 利用の手引 基本編 第7版

TSS編

- 広報 Vol. 15 No.3
- Vol. 16 No.1, 2, 3, 4, 5, 6
- Vol. 17 No.3, 6
- Vol. 18 No.1, 2, 3, 4, 5, 6
- Vol. 19 No.1, 2, 3

- 広報別刷
 - APLの使用法
 - 統計解析システムSAS概説 (1), (2), (3)
 - SAS/GRAPHの使用について
 - センターのプロッタシステム
 - 英論文編集消書システムATFの使用法
 - ~~FAIRS I/JEPによるJICST科学技術文献ファイル(情報工学)の検索~~

無料
LW